

令和5年度 学校関係者評価実施用紙

学校番号	100	学校名	沼津市立沼津高等学校・中等部	記載者	田中 剛
------	-----	-----	----------------	-----	------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
地域や保護者との連携協力による安全安心な学校づくり	・交通事故前年比10%減 昨年11件→11件	B	B	
	・SNS問題等への計画的指導といじめの撲滅 メディアポリシーの周知 SNSに関する講話→情報モラル講話、調査	A	A	
	・防災講座の開催 各学年で実施 ・第五校区防災連絡協議会の開催と地域防災への貢献向上 地区防災参加率80%以上 →前日の津波警報の影響あり 22.5%	B	B	・マンネリ化しないように気を付けたい。 ・地域体験車の派遣を検討したい。
	・体罰・ネットトラブル0件 →0件	A	A	
自ら学び自ら進路を切り拓く生徒の育成	・中高6年間の進路シラバスの活用と改定 ・生徒の進路希望に応じたキャリアガイダンス、進路講座の実施	B	B	・シニアティーチャーの拡大を検討したい。
	・外部模試とICTを活用した学習課題の把握 ・学力向上委員会の分析結果の活用	B	B	
	・新教育課程の編成 G理コース新設 ・中学校の評価方法を生かす高校観点別評価の研究 →研修年間5回	A	A	
	・カリキュラム・マネジメントの推進 研修年間2回 →研修年間5回 ・個別最適化学習について検証を行った。	A	A	
	・学校行事の教育効果の検証と精選 修学旅行満足度→高校98% 中等部90%	B	B	
	・国公立大推薦対策、多面的総合評価への対応・英語外部検定試験等に対する対策	B	B	
	・AL授業の実施 授業への取入れ割合100% ・都市立高校等合同研修20人以上→10人参加 先進校視察5校以上 1校視察	A	A	
文武芸の三道鼎立で人間力を磨く逞しい生徒の育成	・制服を正しく着こなし、さわやかな挨拶、清掃ができる生徒の育成 挨拶清掃がしっかりできる 77.1%→70.0% ・主体的な生徒会活動への支援と生徒会行事 学園祭生徒満足度99.6% →98.1% ・中高校則の見直し 指導内規の見直し完了 ・生徒心得改訂版配布 ・部活動、生徒会、ボランティア活動、進路指導等を通してやり抜く力を身につける。	A	A	

様式第4号

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
	<ul style="list-style-type: none"> 部活動退部率 10%以下 →転部7名のみ 共通テスト受験者 70% →80.9% 部活動の効率的な指導法の研究 部活動ガイドラインの周知と見直し 部活動休日 週1回 平日1回の実施 地域貢献活動の奨励 一部活一貢献活動 全校生徒によるボランティア活動の実施 外部主催ボランティア参加者数 前年度比 10%増 →2部活動が参加 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> 読書指導と探究活動を支える本のレファレンス ビブリオバトル校内大会実施 	B	B	・校内の取組が生徒を育てている。
持続可能な沼津市の未来を創生するグローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 沼津市の企業の方への職業インタビュー 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> 医療看護講座の充実・医療関連施設等見学・介護体験 →リハビリ職講座等追加 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> エンパワーメントプログラム→未実施 国際理解講座の開催年間2回 →長崎修学旅行、授業内で実施 海外姉妹校提携、オンライン英会話学習の導入研究→継続研究 	B	B	
中高一貫の強みを生かした学校改革・働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自尊感情を高める指導の研究 振り返りシート カウンセリング室だより年10回 →10回 不登校対策 できたことノートの実践と研究 6年間で生徒を育てるための教員の人事交流、研修等の実施 シニアティーチャー →生徒が主体的に実施 高校模擬授業、高校教員の面接の実施 難関大対策講座の充実 →個別指導実施 ドリームマップの活用 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> P T A 役員会の効率的運営 P T A 地区会の質的改善 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> 本校からの情報発信の充実 毎月、本校行事に関する記事をローカル紙への提供 →H P 閲覧者数増 地域及び小中学校への情報提供 市沼新聞、A L T 通信 →年間2回発行 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> 割振、振替の徹底 概ねできている 夏期休業中の休暇取得促進日の設定 部活動休日週1日完全実施 休暇取得促進日の取得 100% 体験入学の等の改善 2日を1日にまとめた 	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> 定時退勤日の設定 毎週月曜日に設定 	B	B	